



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 天昇電気工業株式会社
 コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理統括 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,498	0.9	593	4.3	584	21.8	400	104.3
29年3月期第2四半期	7,434	6.1	620	190.9	480	147.6	196	4.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 388百万円 (122.4%) 29年3月期第2四半期 174百万円 (97.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	24.15	
29年3月期第2四半期	11.84	11.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	15,213	4,889	32.1	294.62
29年3月期	15,119	4,551	30.1	274.23

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,889百万円 29年3月期 4,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	4.1	980	23.4	950	25.3	650	32.6	39.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料 P10「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	17,014,000 株	29年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	417,836 株	29年3月期	417,501 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	16,596,277 株	29年3月期2Q	16,582,005 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P10
(継続企業の前提に関する注記)	P10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P10
(セグメント情報等)	P11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策などにより雇用・所得情勢や企業収益の改善が続く中、個人消費の回復等も見られ穏やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは引き続き売上高拡大に向け営業部門の強化を図り既存顧客への更なる深耕、新規顧客の開拓、新規技術の開発等に注力いたしました結果、売上高は74億98百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。損益面におきましては、生産設備の改善・更新による生産性の向上、徹底した工程改善、原材料効率化等の原価低減効果により営業利益は5億93百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業外収益に為替差益、営業外費用に支払利息を計上したこと等により経常利益は5億84百万円（前年同四半期比21.8%増）となりました。特別利益に国庫補助金、特別損失に固定資産圧縮損を計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純利益は4億円（前年同四半期比104.3%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

自動車部品につきましては、当第2四半期連結累計期間において新型車の量産開始もあり堅調に推移いたしました。物流産業資材や雨水貯留浸透漕製品の需要も引き続き好調に推移いたしました。この結果、売上高は、71億34百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は減価償却費の増加等により4億22百万円（前年同四半期比14.5%減）となりました。

中国成形関連事業

中国国内では、物流産業資材及び機構品部品を中心とした売上拡大に向け注力しているものの引き続き厳しい状況で推移いたしました。売上高は1億53百万円（前年同四半期比1.5%減）と販売不振は持続しておりますが、セグメント利益は徹底した原価低減等により4百万円（前年同四半期は38百万円の損失）となりました。

不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市の賃貸建物及び二本松市所在の土地から構成されております。売上高は2億10百万円（前年同四半期は2億11百万円）、セグメント利益は1億66百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間において伊賀市の不動産賃貸用土地建物を売却しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、152億13百万円（前連結会計年度末比94百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金32億82百万円（前連結会計年度末比4億31百万円増）、受取手形及び売掛金が25億87百万円（前連結会計年度末比1億21百万円減）等により80億87百万円（前連結会計年度末比3億94百万円増）となりました。

固定資産は、生産設備投資、減価償却実施及び土地・建物の売却等により71億25百万円（前連結会計年度末比3億円減）となりました。

②負債

負債合計は、103億23百万円（前連結会計年度末比2億44百万円減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金18億20百万円（前連結会計年度末比22億40百万円減）、電子記録債務19億18百万円（前連結会計年度末比19億18百万円増）、短期借入金7億円（前連結会計年度比7億円増）等により70億93百万円（前連結会計年度末比6億14百万円増）となりました。

固定負債は、長期借入金23億89百万円（前連結会計年度末比8億95百万円減）等により、32億29百万円（前連結会計年度末比8億59百万円減）となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び為替換算調整勘定等の変動等により48億89百万円（前連結会計年度末比3億38百万円増）となりました。

④キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億68百万円増加し、31億72百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは6億27百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益5億89百万円の計上、減価償却費5億70百万円の計上、仕入債務の減少3億21百万円、売上債権の減少91百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは6億16百万円の収入となりました。主な要因は、有形固定資産の売却による収入6億26百万円、有形固定資産の取得による支出3億62百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4億97百万円の支出となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出11億円、短期借入金の純増額7億円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期(累計)では、前述のとおり生産設備の改善・更新による生産性の向上、工程改善、原材料効率化等の効果により営業利益以下当初予想を大幅に上回りました。下期以降もこの状況は継続する見込みにありますが、下振れ懸念分も勘案し、平成29年5月15日に公表した通期の連結業績予想を以下のとおり上方修正いたします。

平成30年3月期の連結業績予想

売上高	16,000百万円
営業利益	980百万円
経常利益	950百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	650百万円

なお、詳細につきましては、本日開示いたしました「平成30年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異の発生及び平成30年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,850	3,282
受取手形及び売掛金	2,709	2,587
電子記録債権	937	965
製品	313	343
原材料	432	416
仕掛品	46	62
短期貸付金	72	84
その他	330	344
流動資産合計	7,693	8,087
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,127	1,783
土地	2,610	2,307
その他（純額）	1,516	1,914
有形固定資産合計	6,254	6,005
無形固定資産	99	90
投資その他の資産		
投資有価証券	786	784
その他	309	269
貸倒引当金	△25	△24
投資その他の資産合計	1,071	1,029
固定資産合計	7,425	7,125
資産合計	15,119	15,213
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,061	1,820
電子記録債務	—	1,918
短期借入金	—	700
1年内返済予定の長期借入金	1,078	873
未払法人税等	207	210
賞与引当金	191	177
その他	939	1,392
流動負債合計	6,478	7,093
固定負債		
長期借入金	3,284	2,389
資産除去債務	32	20
その他	771	819
固定負債合計	4,088	3,229
負債合計	10,567	10,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	2,366	2,717
自己株式	△42	△42
株主資本合計	4,430	4,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	121
為替換算調整勘定	9	△13
その他の包括利益累計額合計	121	108
純資産合計	4,551	4,889
負債純資産合計	15,119	15,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,434	7,498
売上原価	5,778	5,841
売上総利益	1,656	1,657
販売費及び一般管理費	1,035	1,063
営業利益	620	593
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	3	3
為替差益	—	22
持分法による投資利益	—	2
商標使用料	2	—
その他	8	7
営業外収益合計	15	42
営業外費用		
支払利息	51	39
為替差損	91	—
持分法による投資損失	11	—
支払手数料	—	11
その他	0	0
営業外費用合計	156	51
経常利益	480	584
特別利益		
固定資産売却益	4	14
国庫補助金	—	103
新株予約権戻入益	4	—
特別利益合計	8	117
特別損失		
固定資産売却損	—	12
固定資産除却損	0	4
投資有価証券売却損	175	—
固定資産圧縮損	—	96
特別損失合計	175	113
税金等調整前四半期純利益	313	589
法人税等	117	188
四半期純利益	196	400
親会社株主に帰属する四半期純利益	196	400

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	196	400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	10
繰延ヘッジ損益	3	—
為替換算調整勘定	△29	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△75	△19
その他の包括利益合計	△21	△12
四半期包括利益	174	388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	174	388

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	313	589
減価償却費	479	570
新株予約権戻入益	△4	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△1
受取利息及び受取配当金	△5	△10
支払利息	51	39
為替差損益 (△は益)	91	△23
持分法による投資損益 (△は益)	11	△2
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4	△1
有形固定資産除却損	0	4
固定資産圧縮損	—	96
投資有価証券売却損益 (△は益)	175	—
国庫補助金	—	△103
売上債権の増減額 (△は増加)	372	91
たな卸資産の増減額 (△は増加)	57	△30
仕入債務の増減額 (△は減少)	△400	△321
未収入金の増減額 (△は増加)	△24	△35
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12	△29
その他	△77	15
小計	1,055	833
利息及び配当金の受取額	5	10
利息の支払額	△51	△39
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△89	△175
営業活動によるキャッシュ・フロー	920	627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	110	436
定期預金の預入による支出	△110	△100
有形固定資産の取得による支出	△519	△362
有形固定資産の売却による収入	22	626
無形固定資産の取得による支出	△40	△1
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	829	—
貸付けによる支出	△51	—
貸付金の回収による収入	—	16
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	240	616

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	700
長期借入金の返済による支出	△879	△1,100
リース債務の返済による支出	△20	△47
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	—	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△900	△497
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	166	768
現金及び現金同等物の期首残高	2,733	2,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,900	3,172

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	7,067	155	211	7,434	—	7,434
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	9	—	9	△9	—
計	7,067	165	211	7,444	△9	7,434
セグメント利益又は損失(△)	494	△38	164	620	—	620

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去9百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	7,134	153	210	7,498	—	7,498
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	9	—	9	△9	—
計	7,134	163	210	7,507	△9	7,498
セグメント利益又は損失(△)	422	4	166	593	—	593

(注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去9百万円であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

不動産関連事業の報告セグメント資産の金額が前連結会計年度末に比べ6億43百万円減少しております。これは主に、当第2四半期連結会計期間において、伊賀市の不動産賃貸用土地建物を売却したことによる減少であります。